

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【公表番号】特表2008-545725(P2008-545725A)

【公表日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2008-050

【出願番号】特願2008-513997(P2008-513997)

【国際特許分類】

C 07D 487/06 (2006.01)

A 61K 31/4745 (2006.01)

A 61K 31/541 (2006.01)

A 61K 31/496 (2006.01)

A 61K 31/5377 (2006.01)

A 61P 43/00 (2006.01)

A 61P 37/02 (2006.01)

A 61P 29/00 (2006.01)

A 61P 19/02 (2006.01)

A 61P 5/14 (2006.01)

A 61P 25/00 (2006.01)

A 61P 21/04 (2006.01)

A 61P 3/10 (2006.01)

A 61P 9/00 (2006.01)

A 61P 7/06 (2006.01)

A 61P 31/04 (2006.01)

A 61P 17/06 (2006.01)

A 61P 17/14 (2006.01)

A 61P 37/08 (2006.01)

A 61P 17/00 (2006.01)

A 61P 27/16 (2006.01)

A 61P 27/02 (2006.01)

A 61P 1/04 (2006.01)

A 61P 11/06 (2006.01)

A 61P 11/00 (2006.01)

A 61P 1/16 (2006.01)

A 61P 13/12 (2006.01)

A 61P 9/10 (2006.01)

A 61P 35/00 (2006.01)

A 61P 35/02 (2006.01)

A 61P 37/06 (2006.01)

【F I】

C 07D 487/06 C S P

A 61K 31/4745

A 61K 31/541

A 61K 31/496

A 61K 31/5377

A 61P 43/00 1 1 1

A 61P 37/02

A 61P 29/00 1 0 1

A 61P 19/02

A 6 1 P 5/14
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 21/04
A 6 1 P 3/10
A 6 1 P 9/00
A 6 1 P 7/06
A 6 1 P 31/04
A 6 1 P 17/06
A 6 1 P 17/14
A 6 1 P 37/08
A 6 1 P 17/00
A 6 1 P 27/16
A 6 1 P 27/02
A 6 1 P 29/00
A 6 1 P 1/04
A 6 1 P 11/06
A 6 1 P 11/00
A 6 1 P 1/16
A 6 1 P 13/12
A 6 1 P 9/10 1 0 1
A 6 1 P 9/10
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 35/02
A 6 1 P 37/06

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月22日(2009.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

方法 a) で使用するウレア形成剤は、例えばホスゲン、トリホスゲンまたはトリクロロメチルホルメートであってよく、アミンの添加が続く。ウレア形成は、また式 II の化合物をイソシアネートと反応させたときにも得ることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 0】

前記によって、本発明はさらに以下を提供する：

1.1 処置を必要とする対象におけるケモカイン受容体とそれらのリガンドの間の相互作用が仲介する障害または疾患、例えば上記の疾患を予防または処置する方法であって、該対象に有効量の式 I の化合物または薬学的に許容されるその塩を投与することを含む、方法；

1.2 処置を必要とする対象における炎症性または自己免疫性疾患、例えば上記の疾患を予防または処置する方法であって、該対象に有効量の式 I の化合物または薬学的に許容されるその塩を投与することを含む、方法；

2. 例えば、上記 1.1 または 1.2 の下に示す方法のいずれかにおいて、医薬として使用するための式 I の化合物または薬学的に許容されるその塩；
3. 式 I の化合物または薬学的に許容されるその塩を薬学的に許容される希釈剤または担体と共に含む、例えば上記 1.1 または 1.2 における方法のいずれかに使用するための医薬組成物；
4. 上記 1.1 または 1.2 の方法のいずれかに使用するための医薬組成物の製造に使用するための、式 I の化合物または薬学的に許容されるその塩。